



月刊 千葉労働動向

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

97.12.25 No.4714

こんにちは

職場訪問⑨

鴨川支部



若手の事故多発は、会社の責任

●まず、職場の現状から聞かせてください。

D そもそも、運輸区自体があまりよくないね。運転士と車掌では、もともと系統が違うんだから、当局が言うようにはうまくいかないと思う。これは、当局も最初からわかっていたことだと思うね。

C 会議なんかでも、二時間の枠のなかで、一時間は運転士の安全会議、もう一時間は車掌のサーブिस会議になってるんだよね。

D 車掌に「入信冒進」と言っても全然分らないんだから、その分運転士で二時間使ったほうがよっぽどましだと思うね。

E それから、今は車掌から運転士になってる関係で、車掌のほうが先輩になっちゃうんだよね。そうすると、運転士から車掌に用件があるときもやりづらい感じになってるみたい。

B 事故や色々なことを考えると、何だかんだ言っても運転士は逮捕されるわけだから、運転士が主導権を取らないとまずいよね。

C 安全に対しても、全てが経験不足だということ。だから、若い運転士の事故も多くなるんだよね。

E やっぱ、運転士は運転士としてきちんと育てないとやっつけられないと思う。結局、こういう教育しかない会社の責任だよ。

主導権は俺たちが握っている

●問題になっていいることはあります。

D 主導権は俺たちが握ってるから、あまり問題点もないかな……。(笑い)

E 仕事のことで言うと、行路の面でだんだんきつくなってるね。

B とくに、アケの部分なんとかしてもらわないとね。

E 千葉から一宮までは列車も多いから千葉転で操作できるけど、千葉転の余りを鴨川でやるようなもんだからどうしようもないね。逆に、鴨川を決めてから千葉転をやってもらいたいね。年一回か二回のストライキのために特急を取り上げるんだから、その方がよっぽど非効率だね。

全員 全くだ。

地労委闘争を勝利しよう

●これまでで一番印象に残っていることは何でしょうか。

E なんとといっても、勝浦運転区の廃止だね。あれはショックだったな。

D 今でも勝浦泊で元の運転区に行くとき、涙が出てくるね。

A 勝浦運転区が廃止されて鴨川に来るときも、不安な気持ちがあったのは事実ですね。だけど、今は労働委員会でも運転区の復活を求めているから、これからは頑張っていきたいとね。

E 労働委員会の今度の証人は誰だっけ。

本部 一月一四日は、当時の人事課長・西野に対する反対尋問で、その次が水野さんですね。

B 西野っていうとどんなやつだっけ。

本部 鉄道労連の初代書記次長をやって、勝浦運転区を廃止したら、すぐに東京地域本社に栄転した奴ですね。

E そんな奴が人事をやってるんだもん。会社もダメになるよな。

JR体制打倒！ 組織拡大に向け九八年を闘う！

●最後に、鴨川支部の九八年に向けた抱負をお願いします。

F やっぱ、こういう体制を打ち砕きたいね。鴨川支部は、一人一人が活動家のようなもんだから、言いたいことは言ってるんだけど、もっともっと個人がしっかりしないとね。

A あとは、組織拡大をしないとだめだね。

F そういうことをやって、他の組合を危機感に立たせないと新だな10万人合理化粉碎！！ 労働運動の新たな潮流めざし全国へはばたこう！！

●ありがとうございます。